



目次

おもて

- ・唾石症とは？

うら

- ・鼻骨骨折とは？
- ・ちょっと疑問コラム

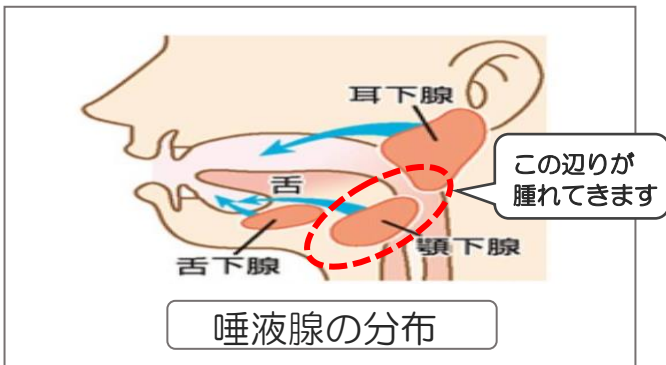
～ 顎の下が腫れて痛む…唾石症って？ ～

《唾石症とは》

人の体内には石（結石）ができることがあります。尿路結石や胆石などは聞いたことのある方も多いかと思いますが、それらと同様に口腔内の唾液腺にも結石が発生し、これを唾石といいます。唾石の大きさは2、3mmから40mmを超える物まで様々です。ほとんどが顎下腺に生じ、耳下腺や舌下腺では少数です。

《唾液腺とは》


唾液腺とは唾液を分泌する腺で、腺体と導管からなり、口腔内に開口しています。主なものとして耳下腺、顎下腺、舌下腺などがあります。排出された唾液はデンプンの口腔内消化や口内乾燥の予防、食べ物の嚥下を容易にする役割があります。



《原因》

唾液腺内で異物や細菌を核としてカルシウムが沈着し、石灰化物（唾石）が形成されます。

《症状》

- ・特有の強い痛み（唾仙痛）
 - ・顎下部の腫れ（上の図  の部分が特に腫れる）
 - ・唾液腺の機能低下
 - ・唾液の減少、分泌障害
- ※食事をすると唾液腺は唾液を作って排出しようとしていますが、途中にある唾石の影響で口腔内に出すことができず、唾液腺内に溜まり腺そのものが痛みを伴って腫れてきます。

《検査と診断》

口腔内の触診や単純X線（レントゲン）、CTで観察をして判断します。

《治療方法》

- ・症状が軽い、唾石が小さい…経過観察
- ・炎症がある…抗菌薬や消炎鎮痛薬の処方
- ・改善が悪く症状を繰り返す場合は手術が必要になることがあります。
（唾石の位置により手術方法が変わります）
- ☆口腔内からの唾石摘出術
口腔内の粘膜を切開し、唾石を摘出します。
- ☆口腔外からの顎下腺摘出術
顎下部皮膚を切開し、唾石を含む顎下腺を摘出します。

《ポイント》

食事の度に腫れる、炎症を繰り返すなどの症状があるときは、まずはお近くの耳鼻科を受診してみましょう。

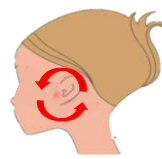
当院では、内服薬の処方、口腔内から摘出可能な場合であれば、診察イスに座った状態で、局所麻酔下に唾石摘出手術を行っています。入院の必要がある場合は他院への紹介をします。



《予防方法はあるの？》

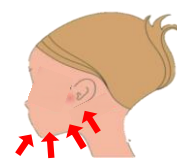
予防方法は特にありませんが、唾液腺のマッサージをすることで唾液の流れを良くすることができるのでやってみてください☆

☆唾液の排出を促すマッサージ☆



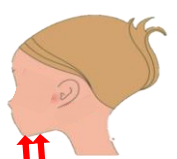
耳下腺

①数本の指を上奥歯辺りに当て、10回ほどぐるぐると優しく回す



顎下腺

②耳の下から顎の下まで3～4ヶ所ほど各ポイントを5回くらいずつ押す



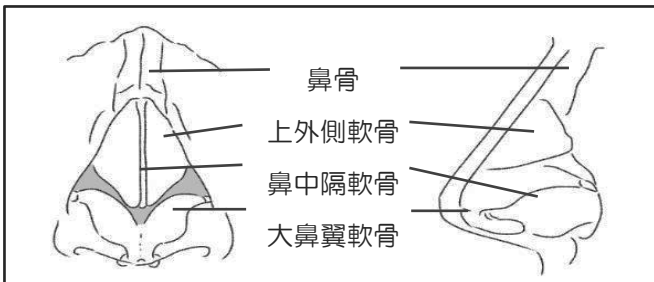
舌下腺

③両手の親指をそろえて当て10回ほど上方向にゆっくり押し上げる

～ 鼻をぶつけた…曲がってる？鼻骨骨折とは ～

《鼻骨骨折とは》

鼻骨は鼻中隔とともに鼻の上半分を形作っている骨のことで、転倒や衝突、喧嘩などの外傷により骨折してしまうことがあります。



《症状》

- 出血（特に折れた直後）
- 疼痛
- 腫脹…時間の経過とともに腫れが強くなり、鼻筋がくの字に曲がっていたり、凹んでいるのが分かりにくくなります。
- 変形…顔の見た目の変化や、鼻腔内の変形により鼻づまりなどの症状が現れることもあるため、早期の治療が望ましいです。

！注意！

治療せずに折れたままくっついてしまうと、元に戻すのが難しく、切開して骨を繋ぎ直すなどの大がかりな手術が必要になります。

《診断》

触診により骨折の有無を確認し、どのように折れているかを単純X線（レントゲン）、CTにて判断します。

また顔面を強打している場合、目の動き（眼球運動障害）や口の開き（開口障害）、咬み合わせ（咬合異常）など他に異常が無いか確認をします。

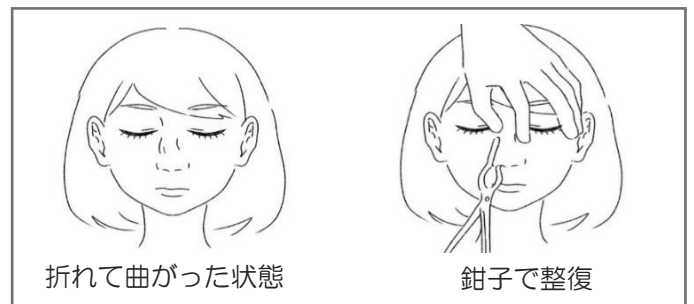
《治療方法》

通常1週間～2週間で骨がくっつき始めます。その前に折れた骨を元に戻す必要があります。

- 局所麻酔下での整復
鼻の部分のみの局所麻酔で行います。鉗子（はさみ状の器具）などを使用し鼻を持ち上げながら整復します。局所麻酔のため術中に痛みを感じることがあります。日帰り手術が可能です。
- 全身麻酔下での整復
全身麻酔で行います。痛み無く施術ができ、より正確な骨折の整復が可能です。局所麻酔では動いてしまうようなお子さんの場合に全身麻酔で行うことがあります。数日の入院が必要です。

！術後の注意！

出血や疼痛の原因になるため、長風呂や飲酒は控えます。再変形しやすいため、ぶつけたり強く触ったりしないように注意が必要です。



当院では、内服薬の処方（鎮痛剤）、骨折の状況にもよりますが、診察イスに座った状態で、局所麻酔下での処置が可能です。入院の必要がある場合は他院への紹介をします。

これってどういうこと？

ちょこっと疑問コラム

Q：のどの診察で「エー」と発声するのはなぜ？

A：「エー」と発声することで声帯の動きを確認し、炎症や出来物がないかを調べます。
「アー」の場合、軟口蓋（口の奥の上側の部分）が上に持ち上がることでのどの奥全体が見えやすくなります。のどに薬を塗る時は「アー」の発声になります。

Q：通気（耳に風を通す処置）の時に先生と患者さんが耳に入れるチューブは何？

A：オトスコブといいます。患者さんの耳に入れたチューブ（オトスコブ）を通して鼓室（鼓膜の奥の空間）に空気が入ったかを音で確認しています。

Q：舌の奥にあるブツブツは病気？

A：有郭乳頭（ゆうかくにゅうとう）と呼ばれる部位で、舌の後部に並び大きな乳頭です。見た目から腫瘍に間違われることもありますが、正常な組織です。味蕾という味を感知する大事な役割も担っています。また、舌の両側面にあるひだ状の部位は葉状乳頭（ようじょうにゅうとう）といい、同じように間違われることがありますがこちらも正常です。

※明らかに通常とは違う、ただれやしこり、痛みなどの症状があるときは受診をおすすめします。